

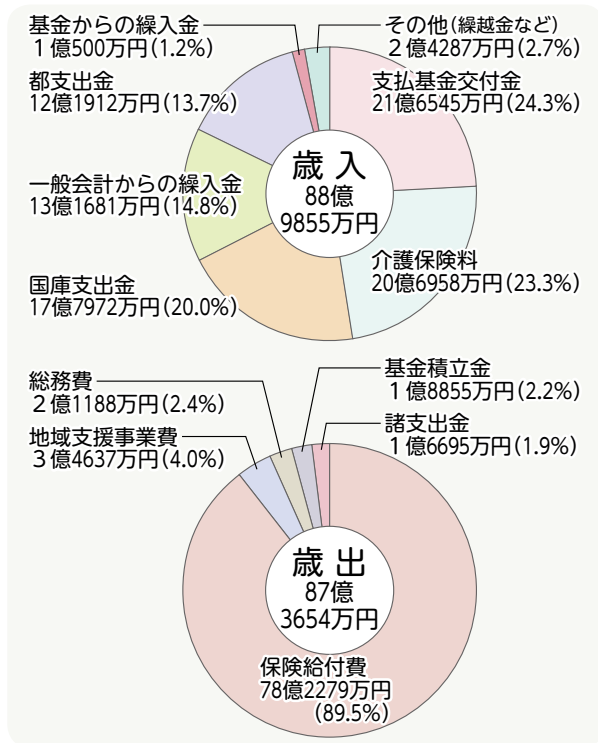
平成30年度 介護保険特別会計の決算の状況

介護保険特別会計の決算の状況は、図1のとおりです。

◎歳入
歳入は、88億9855万円、歳入は87億3654万円で、1億6201万円が令和元年度への繰越金となります。この繰越金から、30年度分の負担金などの清算として、国や都などに9823万円を返還します。

◎歳入
歳入の主なものは、支払基金交付金(40億64歳の医療保険加

▼図1 平成30年度介護保険特別会計決算



入者が納めた保険料)、65歳以上の加入者が納めた保険料、国・都からの負担金・補助金で、歳入の81・3%を占めています。

◎歳出
歳出の主なものは、保険給付

また、保険給付費(市が介護サービス事業者に支払う費用)などの市負担分として、一般会計から13億1681万円、市の介護保険のための基金から1億500万円を繰り入れました。

費で、全体の89・5%を占めています。残りの10・5%は、地域支援事業費(介護予防・日常生活支援総合事業や地域包括支援センターなどの費用)、総務費(人件費や事務費など)、基金積立金、国・都などへの負担金返還額を含めた諸支出金です。

なお、保険給付費は、50%を加入者が収めた保険料で負担し、残りを公費(国25%、都12・5%、市12・5%)で負担しています。

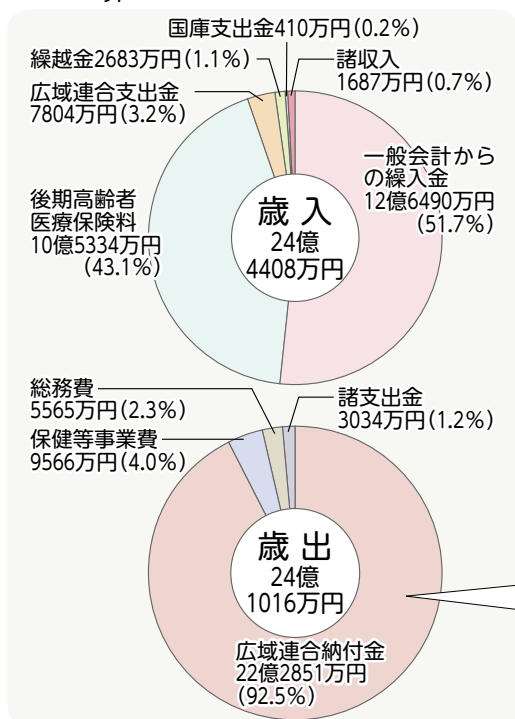
◎一般会計及び基金からの繰入金が増加
29年度と比較すると、歳出の保険給付費が1億8777万円増加したため、市の一般会計からの繰入金が増加しています。基金からの繰入金が8800万円増加しました。

◎65歳以上の加入者1人当たりの保険料と保険給付費
65歳以上の加入者1人当たりの保険料は、平均年額7万1056円でした。

サービス利用者1人当たりの保険給付費は、施設サービス給付費が平均月額26万4678円、居宅介護サービス給付費が平均月額13万1023円でした。

☆詳しくは、介護保険係へ。

▼図2 平成30年度後期高齢者医療特別会計決算



後期高齢者医療特別会計は、東京都後期高齢者医療広域連合が運営しています。

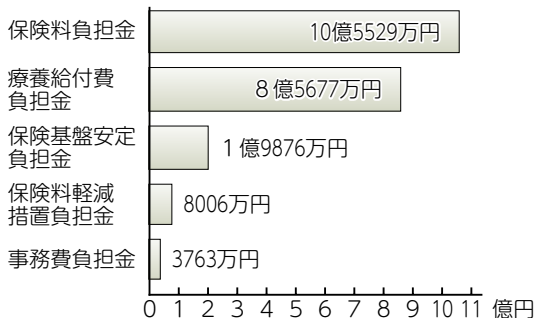
30年度の決算の状況は図2のとおりです。

高齢化に伴う医療費の増加などにより、医療機関に支払う市負担金の増加が見込まれています。

医療費の抑制を図るため、日頃から健康づくりや病気の予防を心がけましょう。

☆詳しくは、後期高齢者医療係へ。

【歳出の92.5%を占める広域連合納付金の内訳】



平成30年度 後期高齢者医療特別会計の決算の状況